荒川公園周辺再整備基本計画策定協議会　第１回会議　開催報告

2026年6月16日（火）に「第１回熊谷市荒川公園周辺再整備基本計画策定協議会」を開催しました。検討状況の報告では、基本計画素案についてご説明しました。

第１回 協議会 開催概要

開催日時　2026年6月16日（火）
14:30~16:30
協議会委員　17名 / 傍聴人12名
開催場所　ハートピア 会議室



プログラム

1　開会
2　挨拶
3　委員紹介
4　会長について
5　議事
　（1）副会長の指名
　（2）検討状況の報告
　　及び基本計画素案
　（3）今後の進め方
6　その他
7　閉会

委員から寄せられたご意見（抜粋）

【地域住民の期待】
地元住民として魅力向上に期待している。地域の人にとっても親しみやすい公園にしたい



【公園との景観的一体化】
アリーナが大きく公園を占めている印象だ。公園と区別せず、一体となったアリーナを考えるべき

【拠点化と駐車場の確保】
バスケ3面による多様な利用が考えられる。拠点化のため、駐車場も一定数は確保が必要



【一般駐車場の抑制】
駐車場の多さは公園の負荷になる。一般用は減らし、送迎や車いす用などに限定して抑制してほしい

【屋上空間の有効活用】
体育館の上に緑の遊び場を作ることは良い案である。体育館利用者、住民にとっても良い計画を策定してほしい

【省エネと維持管理費の削減】
規模拡大において空調設備も膨大になる。ランニングコストを考慮して検討すべき



【全庁横断での活性化推進】
公園を活性化させるソフト事業は、担当課単独で行うのではなく、全庁的に取り組むべき

【周辺の公共施設との連携】
周辺の図書館や文化会館と複合的に計画を立てることで、地域の価値となる。掛け算で次の時代の提案にしたい

【多世代がくつろげる居場所】
スポーツ重視だけでなく、子どもがのびのび遊べるキッズスペースやくつろげる居場所を作ってほしい



今後の検討の流れ

９月末に予定している２回目の協議会で基本計画素案を諮ります。その後、11 月頃に住民説明会、12 月にパブリックコメントの募集期間を設け、2027 年３月頃に基本計画を策定予定です。

2026/9月	2026/11月	2026/12月頃	2027/3月
第２回協議会	**住民説明会**	**パブリックコメント募集期間**	**基本計画策定**
基本計画素案の内容をまとめます	基本計画素案の説明を行います	基本計画案へのご意見を広く募集します	これまでの市民協働での取組を踏まえた基本計画を策定します

※現時点の予定です。今後変更の可能性があります。

この事業に関する情報

熊谷市ホームページはこちらの二次元コードから閲覧できます

お問合せ
熊谷市 総合政策部 スポーツタウン推進課
TEL 048-524-1760
MAIL sportstown@city.kumagaya.lg.jp

みんなでつくろう！ 新市民体育館・新荒川公園

スクスク!クマガヤ

NEWS LETTER 4

荒川公園周辺再整備ニュースレター　2026年9月発行　vol.

第4回 ワークショップを開催しました

2026 年７月４日（土）に４回目の「みんなでつくろう！新市民体育館・新荒川公園ワークショップ」を開催いたしました。40 名の方にご参加いただき、これまでの３回の意見交換の内容を踏まえ、作成した基本計画素案について意見交換をいたしました。こちらでは概要をご報告いたします。



第４回 開催概要

開催日時　2026年７月４日（土）
14:00~17:00
参加人数　40名
開催場所　ハー トピア会議室

プログラム

1　開会挨拶・本日の進め方
2　第３回の振り返り・検討状況説明
3　グループワーク
　・検討状況説明を踏まえた意見交換
4　発表・まとめ



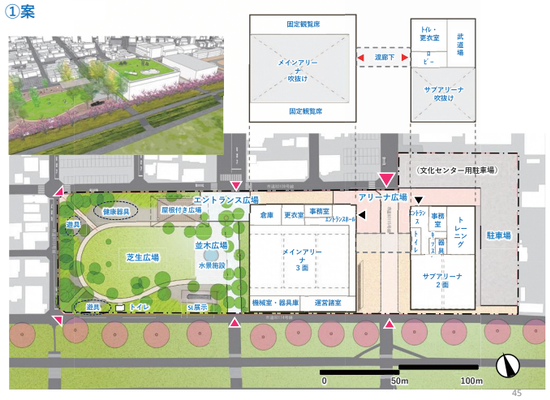




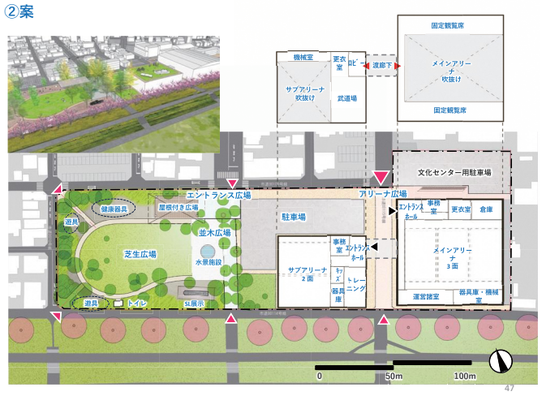


モデルプラン（２案）

①案



②案



新市民体育館・新荒川公園について、こんな質問が寄せられました

検討状況の説明後、参加者から体育館の規模や防災、公園・周辺環境、市民意見の反映などについて、さまざまな質問や意見が出されました。主な質疑応答の内容をご紹介します。

Q 暑さ対策や環境への配慮は？

Q 体育館からの排熱や、再生可能エネルギーの活用はどう考えていますか？

A 既存の樹木を可能な限り残すほか、サブアリーナの開放、水遊び場、屋根付き広場などによる暑さ対策を検討します。また、再生可能エネルギーを導入した ZEB 化等についても検討します。

Q なぜメイン３面＋サブ２面なの？

Q 人口が減少する中、大きな体育館が必要なのでしょうか。維持管理費も心配です。

A 大会利用と市民利用が重なった場合でも双方が利用できることや、建替え期間中も現在の利用を継続するため、メイン３面・サブ２面が必要と判断しています。利用しやすくなることで稼働率や収入の向上も見込んでいます。

Q 利用しやすさや立地については？

Q 障がいのある方への配慮や、工事期間中の体育館利用、熊谷駅近くに整備する理由を教えてください。

A 障がいのある方を含め、さまざまな利用者の意見を聞きながら検討し、屋上へはエレベーターやスロープなどのバリアフリー動線を確保します。また、現在の市民体育館の年間約９万人の利用を代替できる施設はほかにありません。荒川公園周辺については、熊谷駅に近い立地を生かし、市民のスポーツ・文化活動や交流人口の拡大につながる拠点、新たな「熊谷の顔」となる施設を目指して検討します。

Q 水害への備えは大丈夫？

Q 浸水想定区域で 1 階にアリーナを設けても大丈夫ですか？ 盛土はするのでしょうか？

A 想定浸水深 1.6m を考慮した整備方法を検討しています。水害時には２ 階の固定席を避難場所として活用する考えです。盛土を行うかどうかや、避難所としての具体的な運用については今後検討します。なお、現在示している費用には盛土の費用は含まれていません。

Q 公園や周辺の住環境はどうなる？

Q 体育館が大きくなることで、公園の自由な空間が減ったり、交通・照明などが周辺住宅に影響したりしませんか？

A 公園スペースを可能な限り確保するとともに、さくら祭や花火大会などイベント時の利用は周辺エリアとの連携も含めて検討します。夜間照明についても、設計・運用の両面から近隣の住環境に配慮します。既存樹木についても可能な限り残す考えです。

Q ワークショップの意見はどう反映される？

Q これまで出した市民の意見が、今回の案にどう反映されたのか分かりにくいです。

A 相反するさまざまな意見を「3つの価値」として整理し、施設の機能や配置を検討するベースとしています。一方、検討のプロセスが分かりにくかった点については、市も受け止めています。今回のワークショップの意見を次回の協議会に報告するとともに、これまで検討してきた案を含め、経緯を分かりやすく示していきます。

グループワーク

第４回では、モデルプランについて、３つの価値を振り返りながら、意見交換を行いました。
また、ワークショップは最終回となるため、今後の検討で大切にしてほしいことも出し合いました。

各回の意見交換の内容

- **第１回**：現地を見て、良いところ・気になるところ・こうなるといいなと思うところを出し合う
- **第２回**：モデル比較検討案の「良いね」「気になる」をシール投票・貼った理由聞き取り
- 今後の計画の方向性で大切にしたい視点は？
- **第３回**：どんな価値を創造する場にしたい？
- **第４回**：モデルプランに関する意見交換・今後の検討で大切にしたいこと

意見交換１）モデルプランについて、３つの価値を振り返りながら意見交換しよう

モデルプランについて、これまでの WS の意見から導き出した３つの価値、①将来を担う、熊谷市の子どものための場にしよう　②地域が一体になり、まちの資源や取組との相乗効果を生み出す場にしよう　③自然災害、酷暑、防犯などの地域課題の解決につながる場にしよう、を再確認した上で、２案について意見交換しました。
体育館の立地や規模・機能、公園や自然環境、防災、運営など幅広い意見が出されました。体育館の規模や立地などについては、異なる方向の意見も出されました。カテゴリ別にご紹介します。

計画・立地

○周囲の体育館やスポーツ施設を代替施設として活用してはどうか

○利用者増加が見込まれる駅近や新幹線が停まる立地を生かしたい

○現在の敷地ではなく、荒川公園以外の場所への整備も検討したい　など



体育館の規模・機能

○体育館の規模や面数は、稼働率を踏まえた検討が必要

○利用継続のためには、サブアリーナが必要

○サブアリーナに公園、遊び、カフェなどの機能を持たせたい　など



公園・周辺環境

○公園、サブアリーナ、川を一体的につなぎ、滞留できる場所にしたい

○住宅地への圧迫感や反響音に配慮し、設備の配置を工夫する必要がある

○現在の公園、広場、グラウンドを今までどおり使えるようにする必要がある　など



自然・暑さ・景観

○自然、大きな木、並木、生物多様性を、できる限り残してほしい

○排熱を抑え、ミストや常緑樹などによる暑さ対策が必要

○建物の高さや配置に配慮し、桜の景観や並木を守る必要がある　など



運営・利用しやすさ

○ランニングコストや平日利用を踏まえ、経済性を確認してほしい

○自動販売機の料金を安くし、盲導犬のトイレを分かりやすくしてほしい

○建物だけでなく、運営についても検討する必要がある　など



駐車場・防災

○盛土やピロティを採用し、耐震性や防災性を高める必要がある

○駐車場を公園と一体的に整備し、公園利用者と共有したい

○駐車場の台数を確保し、体育館の下への配置も検討してはどうか　など



意見交換２）今後の検討で大切にしてほしいこと

今後の検討については、市民が納得・理解しながら意見を積み上げる進め方や、市民・利用者の声の反映を求める意見が出されました。また、運営やコスト、周辺環境への影響、公園と体育館やまちづくりとの関係についても意見が出されました。

市民参加・情報公開・説明

○ワークショップの目的から話し合い、もう一度実施してはどうか

○市民が納得や理解をし、意見を積み上げながら進める必要がある

○ワークショップをアリバイづくりや市のために利用しないでほしい　など

検証・運営・将来負担

○排熱、風、空気への影響と対策をデータで示してほしい

○ハードだけでなく、運営やコストを含めたシミュレーションを示してほしい

○次世代に税金の負担を残さないことが必要　など

※熊谷市の HP に、ワークショップ当日の配布資料や、まとめ資料などを掲載していますので、詳細は裏面の二次元コードを読み取ってご確認ください。